

# 雲南大地震救援活動

災害発生:1996.23中国雲南省北西部麗江・大理・迪慶・怒江の4県(M7.0)  
 救援期間:1996.25~1996.10.7  
 第1期(1996.25~3.29)  
 神戸華僑総会の祖国支援を、被災地市民、NGOのネットワークが総力協力するする体制を取る。義援金と救援物資を募集し、物資は2便に分けて空輸。3/11~23の訪中(麗江県・昆明、北京)には4名が同行。  
 第2期(〜10.7)  
 現地に小学校を建設する為に引き続き募金を呼びかけることになった。  
 9/5~11小学校開講式典参加のため再び麗江県を訪問。2名同行。  
 救援募金総額:¥24,735,657(1,848口)  
 救援物資:約113重量トン・衣類・毛布等

[中国雲南省大地震救援活動\(ニュースレター\)へ>](#)

1996年8月31日

各 位

阪神大震災地元NGO救援連絡会議  
代表 草地 賢一

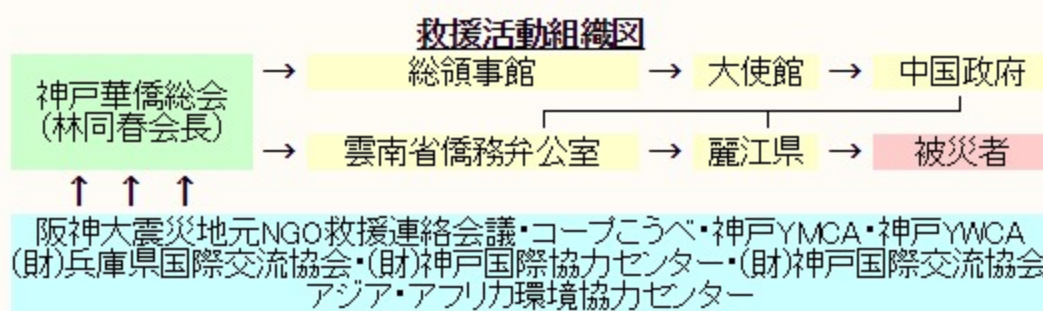
## 雲南大地震救援活動終了報告

去る2月3日に発生した雲南大地震について、私達は次のような考え方で救援活動に取り組みました。(下記図参照)

1. 阪神大震災被災地域の華僑総会が取り組む祖国救援活動に協力する。
2. 地元NGO救援連絡会議が呼びかけて民、官双方の協力事業とする。

この2点については、関連団体の理解と協力を得て別紙のような成果を上げることができました。8月末を持って募金活動を終了するにあたり心から感謝申し上げます。ここに、発生直後からの私達の取り組みの考え方及び活動記録をまとめ、合わせて集まった募金額と物資量をお知らせし、報告と致します。あらためて神戸華僑総会、コープこうべ、神戸YMCA、神戸YWCA、兵庫県国際交流協会、神戸国際協力センター、神戸国際交流協会ならびにアジア・アフリカ環境協力センターの皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。又、この度の救援物資仕分けにご協力いただいたカトリック社会活動神戸センター、阪神大震災ちびくろ救援ぐるうぶ、曹洞宗国際ボランティア会の皆様にも感謝の意を表させていただきます。

尚、集まった義援金は全額を神戸華僑総会に回し、現地訪問の際に約300万円相当の毛布を始めとした救援物資を購入し、又残額は麗江県知事、雲南省長、中央政府華僑大臣との協議に基づき小学校再建費用と致しました。



### 【募金報告】

1. 義援金
  - 第1次送金(2/8) ¥5,000,000
  - 第2次送金(3/14) ¥12,010,718 合計
  - 第3次送金(5/23) ¥6,000,000 ¥24,735,657(1,848口)
  - 第4次送金(8/20) ¥418,103
2. 物資
  - 第1次贈呈分(2/18) 5重量トン 合計
  - 第2次贈呈分(3/11) 8重量トン 13重量トン

### 雲南大地震救援活動記録

2/3(土)	午後7時14分、地震発生(日本時間20時14分) ー 以下、雲南での項目は現地時間 ー
2/5(月)	草地、村井と電話で協議、救援活動の実施を決定 「神戸華僑総会の祖国支援を市民、NGOのネットワークが総力協力」 救援物資と義援金の募集を決定ープレスリリース
2/6(火)	「かわら版No.87」にて救援活動アピール(第1報) 物資はカトリック社会活動神戸センターで仕分け作業 募金はNGO専絡会議の口座に指定振り込み ** 物資輸送のルートを探る ** 華僑総会、兵庫県国際交流課
2/8(木)	華僑総会のルートで荷受人決まる。(雲南省僑務弁公室) 南方航空が昆明まで物資輸送OKとの返事
2/9(金)	「じゃりみち・かわら版号外」にて救援活動報告(第2報)
2/13(火)	第一使用物資倉庫へ移動を始める。 華僑総会への贈呈式企画
2/16(金)	「かわら版No.88」にて救援活動報告(第3報)
2/17(土)	神戸市立生田中学校生徒会義援金を持参ー贈呈式に参加決定
2/18(日)	カトリック社会活動神戸センターで贈呈式(支援ネットワーク等32名出席) 第一次分として義援金500万円、物資5トンを林会長に贈呈
2/21(水)	救援物資第一便(5重量トン)南方航空(無償)で昆明へ 兵庫県国際交流協会のルートで物資第二便の荷受人決まる。 (雲南省人民政府接收救災損贈弁公室)
2/23(金)	「かわら版No.89」にて救援活動報告(第4報)
2/29(木)	救援物資第二便(8重量トン)日本エアーステム航空(無償)で昆明へ
3/2(土)	林会長より義援金を被災地に届ける訪中に同行して欲しいと依頼。
3/8(金)	「かわら版No.91」にて救援活動報告(第5報)
3/11(月)	“中国雲南大地震救援訪問団”結団式 第二次分として義援金約1300万円、物資8トンを林会長に贈呈
3/11(月)~3/23(土)	現地訪問(麗江県、雲南省昆明)、北京中央政府訪問
3/29(金)	“中国雲南大地震救援訪問団”帰国報告会(報告書後述) 現地に学校を建設するために引き続き募金活動をする 「かわら版号外」にて救援活動報告(第6報)
5/23(木)	第三次義援金贈呈(600万円)
8/20(火)	最終精算(約40万円)
<今後の予定> 9/5(木)~9/10(火) 小学校開校式典(9/8)参加(第二次中国雲南地震救援訪問団)	

1996.3.29

### 中国雲南省大地震救援訪問 現地活動報告

団 長 林 同春  
副 団 長 増 田 大成  
秘 書 長 草 地 賢一

#### 1. 訪問先

被災現場(麗江県)  
 雲南省人民政府(昆明)  
 中華人民共和国外交部(北京)

#### 2. 現地日程

##### 1996年3月18日(月)

雲南省人民政府僑務弁公室にて劉氏(省民政庁長)、李氏(雲南省人民政府僑務弁公室主任・雲南省海外交流協会副会長)以下6名と会見、懇談。

- ・雲南省側より歓迎挨拶及び雲南大地震説明、資料提供。訪問団より訪問趣旨・意向及び阪神・淡路大震災概略説明。
- ・雲南省側は神戸華僑総会より届けられた物資の配布状況説明及び義援金の使徒についての意向を表明。林団長は被災の状況を見て支援内容を相談する旨表明。
- ・現地入りに関する詳細打ち合わせ。

##### 3月19日(火)

#### 被災状況視察

- ・案内者:  
和氏(麗江納西族自治県人民政府副県長)  
和氏(県教育委员会主任)  
李氏(前出) 以下6名
- ・視察先:  
麗江県新団村  
同文智村  
文智小学校  
中洛村  
中洛小学校

##### 3月20日(水)

#### 被災状況視察

- ・案内者:(19日に同じ)
- ・視察先:  
白沙郷  
白沙郷東河小学校  
白沙郷白河小学校  
麗江旧市内、新華小学校  
麗江旧市街中心部、観光・商業地区及び周辺住宅

麗江納西族自治県人民政府公室にて奚氏(雲南省麗江地区行政公署民政署副所長)、和氏(前出)、李氏(前出)以下3名と懇談。

- ・中国側からは麗江訪問のお礼、県内の被害状況及び復興状況説明。
- ・今後の復興取組方針及び日本からの救援内容に対する具体的提案表明。  
要点:文智小学校及び周辺の4小学校を合併し、新小学校を建設する計画。費用180万円(約2,350万円)の内、日本側が約130万円(1,700万円)を、現地が約50万円(約650万円)を負担する方向。正式回答は21日、昆明会談にて行うことを双方で了解。

##### 3月21日(木)

贈呈式及び昆明会談(雲南省人民政府公室にて)

- ・出席者:雲南省人民政府 戴副局長、同 劉民政庁長 他多数
- ・贈呈:救援物資約13トン及び義援金2,000万円(内300万円は既に現地にて毛布及び懐中電灯などを買付け、配布済み)
- ・会談合意内容  
日本側は、現地視察に基づいて、20日の計画案を支援し、建設費用(約180万円)全額を提供する。  
中国側は、日本の意向を尊重し、9月の新学期開校に向けて建設を進める努力をする。義援金を他の用途には使用しない。  
日本側は、現時点での義援金残高は約130万円(約1,700万円)なので、不足分約50万円(約650万円)を帰国後継続して義援金を募ることとした。  
人民政府側は謝辞及び「開校時にはぜひ来訪してほしい。学校名は今回の支援活動を記念するものにしたい。」と意向表明。

##### 3月22日(金)

中央政府外交部訪問:陳 健次官と会談。  
 國務院僑務弁公室訪問:廖 暉主任と会談。  
 以上2ヶ所で:

- ・今回の訪問の目的及び訪問団結成の由来を説明。
- ・阪神・淡路大震災の被災地市民が中心になって支援活動がなされたことを報告。
- ・中国外交部並び僑務弁公室廖主任が中日友好につながる事業であると喜ばれた。

#### 3. 義援金の使途について

3月21日、午後3時からの昆明会談に先立ち、林団長、増田副団長、草地秘書長は次の点を確認した。

1. 納西族はきわめて教育熱心であり、被災後3日目から約10日間かけてまず自分の家もさることながら地域の学校を再建していること。
2. 現地視察の全ての団員が特に学校再建の実状に触れ同じ思いを持っていること。
3. 「民族百年の大計が教育にある」という訪問団の共通見解があること。

そして20日の懇談で出された提案を受け入れるべく協議した。上記提案通り50万円を現地が負担するならば学校建設に1~2年かかるとは思えないが、今資金がそろえば本年9月新学期には何とか開校できる見通しであるので、団長、副団長、秘書長は日本側が全額負担することを昆明会議に提案する決定とした。

#### 4. 義援金の受付期間延長について

現在まで2月18日、3月5日、及び3月11日に救援連絡会議より18,317,554円、コープこうべより3,912,771円、合計22,230,325円を神戸華僑総会にお渡した。そこから救援物資輸送に伴う国内経費および義援金受け付け事務経費に1,308,836円を支出した。中国側には既に約2,000万円が送金され、約300万円は救援物資買い付けに当てられた。従って現地政府には約1,700万円が残されており、学校建設費用は約180万円(約2,350万円)~約200万円(約2,600万円)なので、あと650万円~900万円は必要である。我々ネットワークは、引き続き募金活動を行い神戸華僑総会を支援する。  
 なお3月15日締め切りを延長して4月末日までとする。

#### 5. その他

去る3月20日中国新疆ウイグル地区で発生した地震について、既に西宮の日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)が救援活動を開始した。我々としては当面中国雲南支援を継続することもあり、新疆ウイグル地区への支援は下記に送金して頂きたい。

<下記省略>